

島田発、 南アルプス 山頂への道 ——南アルプスと大井川——

長野県、山梨県、静岡県にまたがって広がる南アルプス。そこには富士山に次いで日本で2番目に高い北岳、大井川の源流である間ノ岳をはじめ、標高3,000メートル級の山々が連なります。日本最南端の氷河期の名残をとどめる美しい風景、固有の動植物は世界的にも高く評価され、「ユネスコエコパーク」に認定されています。

今回は、白旗史朗・望月将悟・田中陽希をはじめとする南アルプスに魅せられた人々の紹介とともに、ライチョウや熊の剥製、昆虫の標本、昭和・平成期の登山道具などを展示します。四季折々の変化に富んだ姿をみせる山々の風景、豊かな自然に育まれた生物たちが暮らす南アルプスの魅力をお楽しみください。



「小赤石岳山頂から大沢岳、兎岳方面」撮影 白旗史朗

白旗史朗（しらはた しょう／1933-2019）

山岳写真家。山梨県出身。富士山から南アルプスを遠望して山岳写真を生涯の職業とすることを決意しました。国内外の名峰を撮り続け、ライフワークとして南アルプスを数多く撮影しています。



田中陽希 剱岳から雲海を望む



田中 陽希（たなか ようき／1983-）

ブロードベンチャーレーサー。埼玉県出身で北海道育ち。前人未到の挑戦として、2014年に日本百名山、2015年に日本二百名山を人力のみで踏破。2018年からは日本三百名山すべての山の人力踏破に挑戦中です。



1. ツキノワグマ剥製



2. 登山靴・キスリング



3. 蝶（クモツマキチョウ等）の標本



5. ライチョウ剥製（市立大町山岳博物館蔵）



4. カモシカ剥製
※資料 1~4
（川根本町資料館やまびこ蔵）

関連イベント

■登山講演会

南アルプスの申し子から学ぶ 「山の楽しさと厳しさ」

【講師】望月 将悟（もちづき しょうご／1977-）

静岡県出身。静岡県消防局 山岳救助隊。
トランスジャパンアルプスレース4連覇・無補給完走。

【開催日時】8月22日（土）13:30～15:00

【会場】プラザおおりの3階大会議室

【定員】70名（先着順）

【参加費】600円（観覧料込）

要予約／7月22日（水）より受付開始

【申込方法】往復はがきまたはEメールでお申し込みください。

※1通につき2名まで申し込み可。

＜往復はがきの場合＞

（記入事項）①イベント名、②参加者（人数分）の氏名（ふりがな）・年齢・住所・連絡先電話番号。返信欄に返信先をご記入のうえ島田市博物館宛に郵送してください。

＜Eメールの場合＞

（記入事項）往復はがきによる場合と同じ。件名を「登山講演会参加申し込み」とし、下記のアドレスに送信してください。

hakubutu@city.shimada.lg.jp

【ご注意】受信拒否等の設定をしている場合は、解除するか上記のアドレスが受信できるように設定してください。
なお、メール送信日の翌日から3営業日以内に返信がない場合には、電話にてお問い合わせください。



しよいこ

■背負子体験ブース「気分は歩荷さん!？」 山小屋へ荷物を運んだり、荷物を背負って山を越えたりした人々「歩荷」になった気分で登山グッズを背負ってみよう!

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、予定が変更になる可能性があります。ホームページ・フェイスブックをご確認ください。

島田市博物館

ヒストピア島田
歴史・文化・芸術を楽しむエリア

〒427-0037 静岡県島田市河原一丁目5番50号 TEL(0547)37-1000 FAX(0547)37-8900

■開館時間／9:00～17:00（入館は16:30まで） ■休館日／毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は開館、翌日休館）

■観覧料／一般 300円・団体 240円（20名以上）※中学生以下無料 ※障害者手帳を提示された方と介助者1名は無料

■協力／静岡県環境創造課、市立大町山岳博物館、南アルプス白旗史朗写真館、川根本町資料館やまびこ

■後援／南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会 ホームページ・フェイスブックで情報発信中

島田市博物館 検索

島田市
緑茶化
計画画

資源ごみはリサイクルへ

（分館展示案内）分館開館20周年記念 収蔵品展 海野光弘 山里（同時開催）分館コレクション一挙公開 2nd 2020年6月13日（土）～9月22日（火・祝）